

No. 4 1	事業名 高校生通学バス定期補助制度の創設	23 年度 予算額	13,000 千円	新規 拡大 継続
---------	-------------------------	--------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

高校生の通学にかかる経費負担を軽減し、若者の定住促進及び公共交通利用促進を図るため、バス定期の購入代金の一部を補助する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

補助対象者 市内に居住する高校生を養育する者

補助内容 通学にかかるバス定期代の一部を補助

補助額 1月当たりの個人負担の上限を15千円とし、その額を超える分の全額を補助する。

(2) 事業期間

平成23年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

13,000千円（平成23年度）

3 23年度予算

(1) 予算額

13,000千円

(2) 事業内容

高校生の通学にかかるバス定期代の一部を補助（過疎地域分は過疎地域戦略的プロジェクトへ再掲）

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

但東地域の生徒分については、財源として過疎債（ソフト事業分）を充当する。将来の償還時の財政負担を考慮し、交付税算入分の一部を財政調整基金に積み立てる。（3,000千円／年）

また、過疎法失効後への支援として、別途制度継続のために財政調整基金に積立を行う。（7,000千円／年）

担当課名【経済課】（内線 2314）

No. 4 2 事業名 過疎地域戦略プロジェクト	23 年度 予算額	98,590 千円	新規 拡大 継続
--------------------------	--------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

過疎地域戦略プロジェクトは、地域ごとに住民による検討・議論の中から提案いただいた事業を中心に構成し、行政の発想で進める事業ではなく、地域が想いを描き、地域のために進める事業を市が支援することを基本としている。

制度改正により拡充された過疎債のソフト事業分の財源を有効に活用し、地域の特徴を活かした事業推進により、強力に過疎地域振興を図るものである。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

キャッチフレーズ及び事業概要

【城崎地域】『奇跡の温泉街“きのさき”の新たな挑戦』

観光インバウンド対策、環境整備、イベント開催など

【竹野地域】『竹野スタイルの推進』

体験観光の推進、ジオツーリズム推進、農山漁村振興など

【但東地域】『たんとう“きずな”プロジェクト』

集落対策、体験観光の推進、いのちの教育、空き家活用など

(2) 事業期間 平成 23 年～平成 27 年

(3) 事業主体 民間（地元組織、観光・商工関係団体等）、豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

調整中（過疎債を充当し実施予定）

3 23 年度予算

(1) 予算額

城崎地域分 48,012 千円、竹野地域分 20,900 千円

但東地域分 19,869 千円、全地域関係分 9,809 千円 計 98,590 千円

(2) 事業内容（補助等含む）

城崎地域：外国語版旅館予約システム、もてなし人材育成、観光案内看板、湯めぐり巡回バス、レンタサイクル、花火、ゆかたフェスタ

竹野地域：ジオツーリズム推進（カヌー等）、子ども農山漁村体験プロジェクト（調査等）、漁業資源保護活用調査等、たけの海上花火大会、竹野浜光のプロムナード（太陽光照明）、三原谷の川の風まつり、旧大森小学校改修整備

但東地域：集落対策（集落支援員、アドバイザー）、東井塾推進、シルク温泉やまびこ改修調査、高校生通学バス定期補助

全域関係：中山間地域定住促進（空き家改修補助）、プロモーション制作、交通空白地域支援

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

イベント等への補助に当たっては、次のことを前提として行う。

① 一定の地元負担（従来のものは従来どおり）があること。

② 起債の償還財源として実施年度に相当額を積み立て、償還時の財政負担を軽減する。（交付税未算入分の積立） 担当課名【経済課】（内線 2314）

No.43 事業名 企業誘致の推進	23年度 予算額	25,259 千円 (613)	新規 拡大 継続
-------------------	-------------	-----------------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

産業基盤の強化及び雇用機会の増大を図り、安定的な税収を確保し、持続可能な地域経済を形成する。

本年度は、京阪神地域を重点に、愛知県などの東海地域、岡山県、鳥取県などの中国地域等広範囲に情報発信を行い、誘致活動を展開する。

2 事業内容

①産業展への出展

元気のある企業が多く参加する産業展に企業立地情報提供を目的に出展する。

- ・ 関西圏で実施される産業展へ出展予定
（国際フロンティア産業メッセ 神戸国際展示場）
- ・ 9月出展予定

②企業誘致パンフレットの作成・配付

多くの企業に情報発信できるようにパンフレットを作成し、配付する。

- ・ A3 二つ折り程度
- ・ 1,000部

3 23年度予算額

613千円

No. 4 4 事業名 観光事業の推進	23年度 予算額	10,383 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

観光資源の充実と活用、観光客受入環境の整備、メディア等へのアプローチ、観光資源の魅力の情報発信、魅力的なイベントの開催など、持続可能な施策の展開により観光誘客の促進・拡大を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

誘客促進のための広告宣伝活動、メディア関係者の招聘事業、神戸新聞フェローの活用など効果的な情報発信に継続して取り組むほか、外国人観光客誘致促進のための新たな取組み、地域資源を活用した集客イベントへの支援などを行う。

(2) 事業期間

平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

(3) 事業主体

豊岡市、但馬豊岡観光協議会、神鍋観光協会

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

10,383 千円

3 23 年度予算

(1) 予算額 10,383 千円

(2) 事業内容（主なもの）

【外客誘致促進事業】300 千円

JNTO（通称：日本政府観光局）のインバウンド事業を活用し、海外への情報発信や海外セールスなどを行う

【誘客促進宣伝事業】5,606 千円

パンフレット・ガイドマップ・ポスター作成、広告掲載、ゆるキャラまつり参加などを行う。

【メディア関係者招聘事業】563 千円

豊岡エキシビションのフォローアップ事業として実施する。（15名分を予算化）

【神鍋高原ユースサッカーの里づくり事業】100 千円

ヴィッセル神戸ユースチームのトレーニングマッチ開催を支援し、関係者などへ神鍋高原の施設や運営能力を広くPRする。

【神戸新聞フェロー事業】360 千円

神戸新聞社のネットワークディスプレイを活用した観光PRのほか、新聞紙面やWebニュースなどでもPRする。

担当課名【観光課】（内線 2321）

No.45 事業名 山陰海岸ジオパークの推進	23年度 予算額	32,796 千円	新規 拡大 継続
------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的(趣旨)

山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワークへの加盟が認定されたことにより、ジオパークへの関心が高まってきている。この機会に、市内のジオサイトに関する知識を高め、教育・学習及び観光スポットとしてのジオサイト活用を推進し、ジオサイトの保全や環境問題と両立した地域経済の活性化を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内容

- ・ジオサイトの説明ができるガイドを玄武洞、城崎温泉、竹野海岸に配置
- ・各ジオサイトで独自のイベントを開催し、ジオパークをアピール
- ・ジオツアーバスの補助を新設及び市民向けジオツアーを実施し、ジオツーリズムの普及を図る

(2) 事業期間

平成23年4月1日～平成24年3月31日

(3) 事業主体

豊岡市・山陰海岸ジオパーク推進協議会・各観光協会

3 23年度予算

(1) 予算額

32,796 千円

(2) 事業内容

- ・山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金 3,058 千円
- ・ジオガイドの配置 18,475 千円
玄武洞、城崎温泉、竹野海岸に8名 ※No.5 緊急雇用対策で実施
- ・神鍋高原ジオウォーキング補助金 500 千円
- ・山陰海岸ジオパーク遊覧船&コンサート開催補助金 1,500 千円
開催予定 7月中旬～8月中旬
- ・ジオパークの啓発(パンフの作成等) 638 千円
- ・ジオツアーバス補助金 4,500 千円
主に市外からの観光客で日帰り及び1泊2日を対象、1台につき5万円を補助、30台分を予算化
- ・市民を対象とした地区公民館ジオツアーの実施 2,436 千円
バス借上料を補助84千円/台、29地区分を予算化
- ・山陰海岸ジオパーク国際会議の開催 939 千円
開催予定 10月頃(2日間) 場所 城崎温泉 兵庫県・豊岡市共催で実施
- ・玄武洞柱状節理モニタリング 750 千円

担当課名【観光課】(内線 2321)

No. 46	事業名 農業振興戦略プロジェクト の策定	23年度 予算額	1,106 千円	新規 拡大 継続
--------	----------------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡の農業振興を図るため、関係機関及び関係者で構成する委員会を設置し、国内外の農業情勢並びに豊岡における農業の現状・課題について意見交換・検討を行い、豊岡の農業を持続可能な力強い農業にするための中・長期的な目標設定と、その実現に向けた豊岡の農業が元気になる戦略プロジェクトを策定する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

検討委員会（委員 10 名程度）を設置する。

年 4 回の委員会を開催し、コウノトリ育む農法（米・大豆）の推進、コウノトリの舞農産物の推進、農産物の販売促進（国内・国外）、環境直接支払いなどの豊岡の農業が元気になる内容の意見交換・検討を行い、戦略プロジェクトを策定する。

委員会での中間報告は 10 月に、最終報告は 2 月にそれぞれ予定している。

(2) 事業期間

平成 23 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 23 年度予算

(1) 予算額

1,106 千円

No. 4 7 事業名 新規就農対策	23年度 予算額	1,600 千円	新規 拡大 継続
--------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

現在、農業従事者の減少や高齢化の進行、後継者や担い手不足、さらに有害鳥獣被害などにより、耕作放棄地が増加するなど農業を取り巻く環境は悪化している。

そこで新規就農者を雇用する受け皿である認定農業者等に対し、研修や賃金などの支援を行い、年間を通じての雇用と技術習得を可能にすることで、地域の担い手として新規就農者の育成を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

国県事業である「農の雇用事業」及び「新規就農離陸加速モデル事業」を利用し、環境創造型農業に取り組む新規就農者に対し、雇用主へ2年目の人件費支援を行う。

1人当たり月額10万円を支給（12ヶ月を上限とする）

(2) 事業期間

平成23年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 23年度予算

(1) 予算額

1,600千円

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

助成対象 (有) あした 12ヶ月*1名
中谷農事組合法人 4ヶ月*1名

担当課名【農林水産課】（内線 2358）

No. 4 8 事業名 有害鳥獣対策	23 年度 予算額	111,761 千円 (67,503)	新規 拡大 継続
--------------------	--------------	---------------------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

野生動物の農作物被害対策として獣害防護柵の設置等を推進しているが、依然として農業被害が農業者に深刻な影響を与えているため、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律により、国・県の財政支援を受け防護柵の設置を推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

耐用年数の高い防護柵（金網柵、電気柵）を効果的に広域整備する。
 防護柵：7 地区（加陽・上郷・観音寺・片間・日場・赤崎・知見地区）
 L=22,830m

(2) 事業期間

平成 23 年度

(3) 事業主体

豊岡市野生動物被害対策推進協議会

3 23 年度予算

(1) 予算額

67,503 千円（85%：国 50%・55%、県 3%・3.5%、市 27%・31.5%）

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

その他、従来から実施している駆除・防除対策事業については下記のとおり

【有害鳥獣駆除対策事業】 35,807 千円

一般駆除、一斉駆除の業務委託及び捕獲鳥獣の処理報償費

【有害鳥獣捕獲柵等設置事業】 1,050 千円

集落による捕獲柵設置に係る助成〔補助率：1/2 以内、上限：150 千円（但し、箱わな 50 千円）〕

【有害鳥獣防護柵等設置事業】 4,500 千円

集落による防護柵設置に係る助成〔補助率：1/2 以内、上限：150 千円〕

【狩猟免許取得促進事業】 105 千円

新規狩猟免許に対する助成〔補助額：15 千円／人の定額、但し、1 回限り〕

【高齢者等農作業生きがい対策事業】 2,240 千円

60 歳以上の高齢者による防護柵設置に係る助成〔補助率：1/2 以内、上限：75 千円（金網柵）・35 千円（電気柵）、但し 1 世帯 1 回限り〕

担当課名【農林水産課】（内線 2364）

No. 4 9 事業名 農地・水保全管理支払事業	23年度 予算額	36,002 千円	新規 拡大 継続
--------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

農地や水など資源の保全とその質の向上を図るため、農業者だけでなく、地域住民、自治会、関係団体などが幅広く参加する新しい組織をつくり、従前の保全活動に加え、施設を長持ちさせる活動や農村や自然や景観を守る地域の共同活動を促進する。

また、平成 23 年度は、老朽化が進む農業用施設の補修・更新の制度拡充を行い、本対策に取り組む集落を追加的に支援する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

○共同活動への支援（共同活動支援交付金）

対象：地域における共同の取組みにより保全される「農地・農業用水等の資源」

○ステップアップ支援

対象：共同活動への支援に係る地域の高度な取り組み

○施設の長寿命化への支援（新規拡充：向上活動支援交付金）

対象：水路、農道、ため池の補修・更新等、農業用施設の長寿命化のための取り組み

○事務費：（県費 10/10）（農地・水保全管理支払推進交付金）

(2) 事業期間

平成 19～23 年度 5 ヵ年

(3) 事業主体

本事業申請を行い、協定を市と交わした地域の活動組織（現在 133 組織）

共同活動推進交付金についてのみ市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

共同活動支援+ステップアップ分 690,000 千円（予定）

（国費 1/2、県費 1/4、市費 1/4）

3 23 年度予算

(1) 予算額

36,002 千円（市の負担金分）

(2) 事業内容

○共同活動への支援（共同活動支援交付金）

H23 年度要求額 28,991,310 円（22 年度実績による。田：252,057a、畑：18,072a）

○ステップアップ支援

H23 年度要求 500,000 円（22 年度実績による。10 地区）

○施設の長寿命化への支援（新規拡充：向上活動支援交付金）

H23 年度要求額 5,800,000 円（共同活動支援交付金×約 20%分）

○事務費：（県費 10/10）（農地・水保全管理支払推進交付金）

共同活動推進交付金：H23 年度要求：710,000 円（22 年度実績による。）

担当課名【農林水産課】（内線 2375）

No.50 -1	バイオマスタウンの推進 事業名 (ペレットストーブの設置、ペレットボイラーの設置)	23年度 予算額	94,423 千円	新規 拡大 継続
-------------	--	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市内に存する未利用系又は廃棄物系の木質バイオマスを原料として、市内で燃料（ペレット）を製造し、市内で利用する「豊岡型地域資源循環システム」の構築を実現することにより、林業の活性化、雇用の拡大、里山の整備はもとより、地球温暖化防止に貢献することを目的とする。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

北但東部森林組合が木質ペレットの製造施設（入口）を整備し、市が利用施設（出口）であるペレットストーブやペレットボイラーを小・中学校及び市内公共施設に整備する。

(2) 事業期間

平成 19 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

714,888 千円（国庫 1/2、県 7%）

3 23 年度予算

(1) 予算額

ペレットストーブ・・・46,740 千円

ペレットボイラー・・・47,683 千円

(2) 事業内容

ペレットストーブの整備・・・市内小・中学校 55 台（港西小・田鶴野小・日高東中）、
公共施設 5 台、

ペレットボイラーの整備・・・市内老人福祉施設 1 台（このとり荘）

担当課名【農林水産課】（内線 2368）